事例No.	1126
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	千葉県市原市

事例区分	一般行政

タグ	・EBPM ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

意向調査優先順位案の作成

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

千葉県　市原市（意向調査優先順位案の作成）

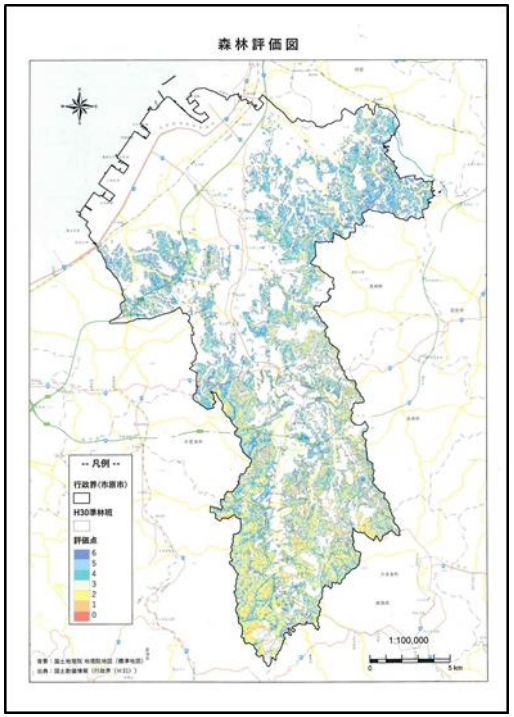
- 市原市では市域の約35%を森林が占めているが、森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加により、人工林の荒廃が進み公益的機能の低下等の影響が生じていることから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理法に基づく取組を推進する方針。
- 令和元年度においては、既存のレーザー測量成果等の資料を収集・分析することにより、森林の現況を把握し、意向調査の優先順位案を作成した。

□　事業内容

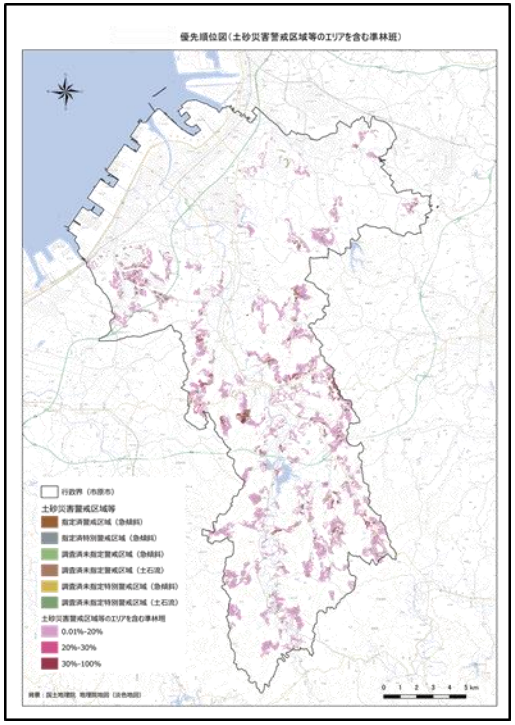
1　意向調査優先順位案の作成

【事　業　費】9,350千円（うち譲与税4,675千円）

【実　　績】優先順位案の作成

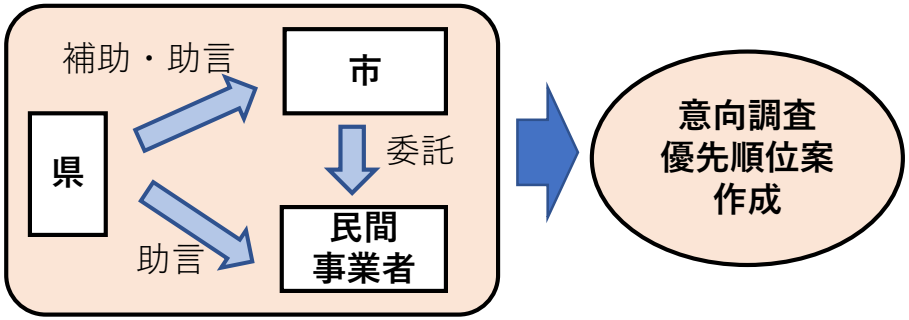


（森林評価図）



（防災面から検討した優先順位図）

□　事業スキーム



□　工夫・留意した点

航空レーザー測量データ等の既存データを分析することで、客観的に林業経営に適した森林を把握するとともに、千葉県実施の世論調査において住民の関心の高かった「防災面」「環境面」からも森林整備の優先順位を検討した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	16,125千円
②私有林人工林面積（※１）	3,844ha
③林野率（※２）	36.6%
④人口（※３）	274,656人
⑤林業就業者数（※４）	28人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」